

宮城県の小規模多機能サービス拠点の整備と利用の実態から見た考察

キーワード：宮城県、小規模多機能サービス、
利用実態、圏域

石井研究室 粕谷 祐太
福地 弘典

1. 研究の背景と目的

小規模多機能サービス拠点は、在宅生活を支えることを目的として2006年4月に制度化された。自治体ごとに整備を進めることができ、「通い」・「泊まり」・「訪問」のサービスを利用者に対して柔軟に組み合わせながらサポートできる特徴がある。

2009年12月時点で全国には2,276拠点があるが、宮城県内では18カ所しか整備されていない。自治体の取り組み方の違いによって、各地域の差を生みだしている。本研究では、宮城県の小規模多機能サービス拠点の整備と利用の実態から、拠点ごと、利用者ごとの利用状況と実態を分析し、考察することを目的とする。

2. 調査方法

宮城県内にある全18拠点('09.12現在)において現地訪問調査と管理者へのヒアリング調査を行い、それに加え利用者個別の直近1週間前の利用状況についてのアンケート調査(279人分)を行った。データを得られた16拠点について以下分析する。

3. 拠点概要

所在地は、仙台市8拠点、石巻市2拠点、その他6市町に1拠点ずつある。運営主体別に見ると、社会福祉法人が6拠点、株式会社が6拠点、有限会社が4拠点となっている。建物は、新築型が9拠点、改修型が7拠点となっている。登録定員はSe-8のみ24人で、他の拠点は基準

定員最大の25人となっている。調査時点での定員の充足率は36%～96%となり、拠点間で大きな差がある(表1)。

調査時点直近1週間の利用実績を見ると、1日あたりの通い利用者が最も多いのはIshi-1の14.6人、最も少ないのがSe-2の7.0人であった。1日あたりの泊まり利用者が最も多いのはM-1の7.6人、最も少ないのは0-1の0人であった。

男性の割合は全体で平均24.2%だが、拠点別で15.0%～52.6%と大きな差が出た。平均年齢が最も高いのはSiro-1で87.5歳、最も低いのは、T-1で77.2歳となった。

重度の要介護度(4,5)の割合が最も高いのはSio-1の50%、最も低いのがSe-4、Se-5で0%となった。認知症の割合が最も高いのはSe-8で100%、最も低いのがSe-5で67%となり差がある。重度の認知症(Ⅳ, M)の割合はSe-3で40%と最も高く、Siro-1、M-1では0%となっており拠点間での利用者属性の相違が明らかになった。

独居の割合が最も高いのはSe-1で50%、最も少ないのがSe-6で5%となりこれも拠点により差がある(表1)。

4. 利用パターンの分類と分析

全利用者の直近1週間でのサービスの利用パターンを分析すると、「通い」・「訪問」・「泊まり」などの組み合わせ方により、「その他」を含めた全7パターンに分類された(表2凡例)。

全体で見ると最も高い割合を占めるのが、「通い」の

(表1)各施設の概要

施設記号	所在地	開設年月	運営主体	建物	利用者数(定員)人			男性割合	平均年齢	重度要介護の割合(※1)	認知症割合	重度認知症の割合(※2)	独居割合
					登録定員	通い	泊まり						
Ishi-1	石巻市	2006年8月	有限会社	改修型	22(25)	14.6(15)	4.6(6)	18.2%	85.2	23%	82%	14%	32%
Ishi-2	石巻市	2008年10月	有限会社	新築型	18(25)	12.1(15)	5.0(8)	22.2%	80.8	28%	78%	17%	6%
Iwa-1	岩沼市	2007年8月	社会福祉法人	新築型	22(25)	15.0(15)	5.6(9)	40.9%	79.9	14%	91%	18%	9%
0-1	女川町	2008年12月	株式会社	改修型	13(25)	7.6(15)	0.0(6)	15.4%	85.1	38%	85%	8%	15%
Sio-1	塩竈市	2006年7月	社会福祉法人	改修型	20(25)	10.6(12)	2.4(5)	15.0%	81.3	50%	90%	20%	10%
Siro-1	白石市	2007年4月	社会福祉法人	改修型	13(25)	9.4(15)	4.3(9)	15.4%	87.5	15%	85%	0%	8%
Se-1	仙台市	2006年11月	株式会社	新築型	24(25)	13.0(15)	3.4(5)	20.8%	84.1	21%	83%	21%	50%
Se-2	仙台市	2008年1月	株式会社	新築型	18(25)	7.0(15)	4.5(5)	16.7%	80.2	11%	72%	28%	17%
Se-3	仙台市	2007年4月	株式会社	新築型	15(25)	1.7(15)	3.0(5)	20.0%	79.5	13%	73%	40%	13%
Se-4	仙台市	2009年1月	有限会社	新築型	11(25)	8.0(15)	4.5(9)	27.3%	84.7	0%	91%	9%	18%
Se-5	仙台市	2008年7月	株式会社	改修型	9(25)	7.6(15)	2.3(5)	22.2%	80.5	0%	67%	11%	33%
Se-6	仙台市	2009年4月	株式会社	新築型	20(25)	10.9(15)	1.7(5)	25.0%	84.0	15%	70%	20%	5%
Se-7	仙台市	2007年4月	社会福祉法人	改修型	18(25)	13.0(15)	7.3(8)	16.7%	83.0	39%	72%	33%	28%
Se-8	仙台市	2009年4月	社会福祉法人	新築型	13(24)	8.8(12)	2.2(5)	38.5%	82.1	23%	100%	31%	31%
T-1	多賀城市	2007年6月	有限会社	改修型	24(25)	13.2(15)	1.0(5)	20.8%	77.2	21%	88%	17%	17%
M-1	村田町	2007年9月	社会福祉法人	新築型	19(25)	12.8(15)	7.6(9)	52.6%	82.9	5%	68%	0%	26%

※1 重度要介護の割合は要介護度4と5の割合

※2 重度認知症の割合は認知症度ⅣとMの割合

み利用のパターン1で32%となっている。「訪問」のみの利用となるパターン6は1%とわずかだがある。

パターン1の割合が最も高いのはSe-5で67%となっており、最も低いのがIshi-1で5%となっている。

0-1では「通い」+「訪問」のパターン3の割合が77%と多くの割合を占めている。Iwa-1やSe-7のように「泊まり」のみのパターン2が30%以上を占める特徴的な拠点も見られる。Se-2のように「通い」+「泊まり」のパターン4が56%と半分以上の割合を示す所もあった(表2)。

拠点ごとの利用者の特性で利用されるサービスのパターン別の割合に大きなばらつきが見られる。

5. 拠点と利用者宅との距離の分析

各拠点における利用者の送迎時間は車で5～15分圏内が全体の74%となっている。小規模多機能サービスは地域密着型サービスであり、こまめな訪問や柔軟な利用においては、利用者宅と拠点の距離は短い方が拠点側にも利用者側にもメリットがある。そのような形で拠点を整備することが本来の目的でもある。

利用者宅と拠点との直線距離を見ると、最大距離は9.94kmとなっており、最小距離は0kmとなっている(表3)。0kmを示すのは、拠点に住所を移している利用者や、拠点に併設する高齢者向け賃貸住宅に住む利用者がいるからである。

平均距離が最も長い拠点はSe-5で5.91kmとなっており、最も短い拠点は0-1で0.56kmとなっている。

仙台市泉区の拠点Se-5では、拠点から5km以上離れた所に住む利用者6名を受け入れており、平均距離が長くなる要因となっている。これは利用者にも運営側にも負担がかかる状態といえる。

対照的に太白区にある拠点Se-7のように平均距離が0.97kmと小さい範囲でサービス提供できている拠点もある(表3)。

仙台市は中学校区に1つずつの小規模多機能サービス拠点を配置する方針を出している。仙台市には60以上の中学校区があるが拠点の数は8拠点というのが現状である(図1)。他の市町も1～2拠点という設置数となっている。

6. まとめ

今回、宮城県の全18ヶ所の小規模多機能サービス拠点を対象とした調査により、現在の県内での整備状況及び利用状況を明らかにすることができた。

現在の利用者の高齢化が進み、現状よりも重度介護度や重度認知症度の割合が増した時のサービスのあり方などは今後の大きな課題となってくるであろう。

併せて行った管理者へのヒアリングからは、拠点ごとでさまざまな地域交流に取り組んでいる実態も明らかになった。例えば、地域の花火大会を見る場所として施設を開放していたり(Se-1)、毎日の昼食を作り

てくれるボランティアの協力がある拠点もあった(Sio-1)。しかし全般的にみると、利用者の利用圏などを見てもまだ地域に密着した拠点として機能しているとは言えず、地域とのつながりについては、そのあり方が手探り状態にあることがわかった。拠点ごとにサービスや利用の考え方が異なるため、運営やサービスに差が生じている実態も明らかになった。

今後各地域に拠点が整備されることが期待されるが、厳しい市町村の財政状況もあり、理想どおりに進んでいないのが現実である。より地域に密着したサービスとして整備し、そのあり方を探っていくことが今後の課題といえる。

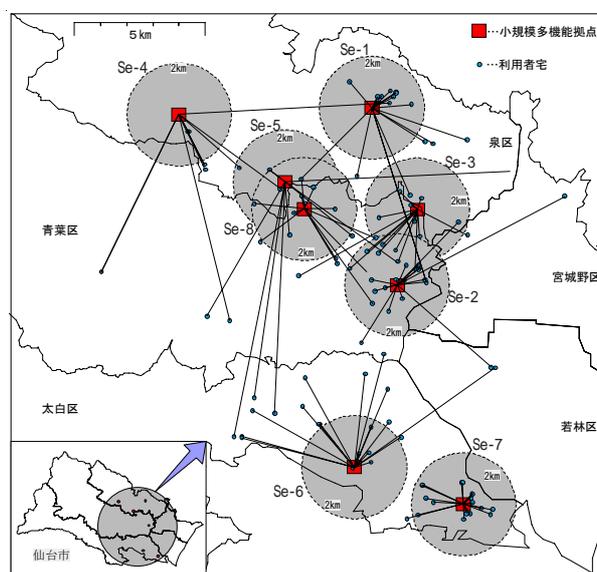
(表2) 施設ごとの利用パターンとその割合

施設記号	パターン						
	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7
Ishi-1	5%	9%	32%	18%	27%	0%	9%
Ishi-2	39%	11%	6%	39%	0%	0%	6%
Iwa-1	41%	32%	0%	9%	0%	5%	14%
M-1	32%	11%	26%	26%	0%	0%	5%
0-1	15%	0%	77%	0%	8%	0%	0%
Se-1	26%	4%	52%	13%	0%	0%	4%
Se-2	44%	0%	0%	56%	0%	0%	0%
Se-3	47%	13%	20%	13%	0%	0%	7%
Se-4	9%	18%	27%	45%	0%	0%	0%
Se-5	67%	22%	0%	11%	0%	0%	0%
Se-6	45%	0%	30%	20%	0%	5%	0%
Se-7	28%	39%	11%	6%	11%	0%	6%
Se-8	23%	0%	15%	38%	0%	8%	16%
Sio-1	25%	0%	25%	40%	0%	0%	10%
Siro-1	15%	15%	31%	23%	0%	0%	15%
T-1	58%	4%	21%	0%	4%	4%	8%
総計	32%	11%	23%	22%	4%	1%	7%

パターン1: 「通い」のみ
 パターン2: 「泊まり」のみ
 パターン3: 「通い」+「訪問」
 パターン4: 「通い」+「泊まり」
 パターン5: 「通い」+「電話確認」
 パターン6: 「訪問」のみ
 パターン7: その他

(表3) 拠点と利用者宅との直線距離

	最大距離 (km)	最小距離 (km)	平均距離 (km)		最大距離 (km)	最小距離 (km)	平均距離 (km)
Se-1	6.49	0.00	1.49	Ishi-1	6.32	0.04	2.56
Se-2	7.29	0.19	1.68	Ishi-2	6.10	0.12	2.70
Se-3	5.20	0.27	1.91	T-1	6.02	0.31	2.46
Se-4	8.09	0.70	3.65	Shiro-2	8.46	1.16	3.42
Se-5	9.94	0.81	5.91	O-1	1.67	0.00	0.56
Se-6	6.56	0.05	2.88	Sio-1	2.95	0.10	1.36
Se-7	2.15	0.40	0.97	Iwa-1	3.91	0.34	1.66
Se-8	4.42	0.17	1.83	M-1	6.10	0.00	2.63



(図1) 仙台市の拠点と利用者宅との位置関係